

副会長	川端 祐司
専務理事	奥田 修一
理事	猿渡 保
理事	大神 隆裕
理事	小田 啓二
理事	岸田 哲二
理事	富岡 洋光
理事	永井 正哲
理事	西川 信也
理事	藤田 秀樹
理事	松野 和彦
監事	松田 淳
監事	宮地 秀和

続いて同会場で 2023 年度 ONSA 賞授賞式が行われ、水田会長から受賞者に賞状と賞金が贈呈され、記念撮影が行われました。受賞者のご挨拶は業績の概要と共にこのニュースで紹介します。

以上で 2024 年度第 1 回定時会員総会が閉会しました。この後会場で参加会員、ONSA 賞受賞者、関係者で久々の交流会が行われ、なごやかな時間を過ごしました。

## 2024 年度の ONSA の事業のご紹介

総会で承認された事業計画は概ね昨年度を基本とした次のようなものになります。今年度は個人会員の年会費を半額にすることになり、これによって会員の参加を促すと共に、新しい方針に基づく事業の見直しを随時行っていきます。

### 1. 放射線に関する知識普及と会員への情報提供

継続して「みんなのくらしと放射線知識普及実行委員会」に参加し、学生や一般市民などへの放射線の知識普及活動を行います。

放射線科学研究会（年 3 回、第 1 回は本ニュースに案内掲載）、第 33 回放射線利用総合シンポジウム（2025 年 1 月に開催予定）や施設見学会を開催します。また ONSA ホームページ、ONSA ニュースと電子版を活用して、情報を提供します。

[ONSA 会議室の活用] 会員の企画によるミニ研究会（出席者 10 人前後、Online 開催も可能）やミーティングをサポートします。

### 2. 委託業務、調査・研究などの受け入れ

行政機関、公設研究機関、民間などから調査や研究などを受託します。また ONSA では、外部からの依頼によるガンマ線の吸収測定の実績があります。是非ご相談ください。

### 3. 放射線関係団体、行政との連携活動

全国の団体との連携、実行委員としての活動を行います。

#### 4. 放射線利用に関する優れた研究・活動の顕彰と支援

放射線や放射性同位元素等に関わる優れた研究・活動の奨励のために ONSA 賞を贈ります。広く企業、学校、研究機関などにおいて、関係する研究、産業における利用の促進や普及、または人材育成での優れた業績を対象としています。

#### 5. 技術相談

放射線利用機関の紹介や、放射線被ばくなどの相談を受けています。

#### 6. その他の活動

一例として、大阪府立大学で開発された便利で高性能なペルチェ冷却型霧箱を受託販売しています。

### 2024 年度からの ONSA の新しい活動方針

2021 年度に ONSA の事業と予算の方針が大きく見直されました。2023 年度は、総会の意向に従い、会長の下で「今後の ONSA のあり方」について広くご意見をうかがって、とりまとめた結果に基づいた会長からの提案がありました。新メンバーの理事会では会長等が選定されると共に、この提案に基づく次のような新しい活動方針が承認されました。

今後の具体的な進め方等については、企画運営委員会を中心に検討を行うと共に、事業などを見直ししながら、まず 1 年間でこの方向性を確かなものとするのが目標です。

これまでの長年にわたる実績や関西を中心に構築してきた関係基盤を踏まえ、ONSA を拠点とする活動がより活発なものとなるよう取り組みます。一層のご協力をお願いし、またご意見やご提案を是非お寄せください。

## 新しい活動方針

### ONSA の基本方針

現在の定款に定められた方針に従い、放射線利用技術の向上による科学技術、産業の振興を図る。

### 今後の ONSA の活動方針

#### 1. 放射線に関連する活動拠点

定款に規定がありこれまで設置されていなかった「専門部会」を新たに設け、放射線に係る多様な分野で会員の自主的な活動を推し進め、関西を中心とする活動拠点とする。

#### 2. 放射線に関連する連携拠点

ONSA 内外で産学官民相互の連携を推し進め、関西を中心とする連携拠点とする。

この方針へのご質問、ご意見などの連絡先：ONSA 専務理事 奥田修一

Tel: 06-6282-3350 E-mail: [manager-onsa@osaka.nifty.jp](mailto:manager-onsa@osaka.nifty.jp)